

研究の全体構造図

学校教育目標

心豊かに 進んで学び 生きる力を身につけるつつしが丘の子

めざす子ども像

☆なかよい子

☆考える子

☆たくましい子

研究主題

主体的に考え、表現する力を育む算数科授業の創造
～数学的に表現し伝え合う活動を通して～

めざす子どもの姿

- ・問題の解決に向けて見通しをもち、すすんで考えることができる子
- ・互いに考えを伝え合い、表現しようとする子

研究仮説1

考えをもつ手立てや伝え合う手立てを工夫することによって、主体的に学ぶことができるであろう。

研究仮説2

自分の考えを数学的な表現を使い、筋道を立てて説明し合うことで、互いに理解を深め、より相手に伝わる表現力を育むことができるであろう。

研究の視点

- ・主体的に学習に取り組める問題提示や教材化
- ・問いをもたせる工夫
- ・既習事項の活用
- ・発問の工夫

研究の視点

- ・考えを説明させる工夫
- ・伝え合う場の設定
- ・学習形態の工夫

この方法なら、問題を解決できそうだな・・・。

学びの連続性
学びの高まり

いろいろな考えがあるな。次に生かしてみよう。

課題や問題に対して
主体的に考えようとする力

自分の考えを数学的に
表現する力

児童の実態

- ・自分の考えを話したり、友だちの考えと比べながら聞いたりすることができる。
- ・話し合っていることを具体的にイメージすることや課題や問題を深く考えて、自分の思いを話すことが苦手である。
- ・身についた力を活用する、発展させていく力に欠ける。